

会 議 結 果 の お 知 ら せ

1 開催した会議の名称

第1回上浦地域振興審議会

2 開催日時

令和4年6月13日(月) 19時00分から21時15分

3 開催場所

佐伯市上浦大字津井浦1400番地3

佐伯市上浦振興局 2階 大会議室

4 出席者

(地域振興審議会委員)

会長 山矢 隆彦 副会長 鱈石 朝子

委員 池田 敬、大野 仁士、河野 亜紀、ホウエンス ジョナサン ルイス

野田 郁子、松下 教子

(委員10名中8名出席)

(総合政策部)

政策企画課 総括主幹 田村 英朝

副主幹 清田 甲生

(地域振興部)

コミュニティ創生課 総括主幹 工藤 裕司

副主幹 森崎 宏明

(上浦振興局)

振興局長兼地域振興課長 三股 幸子

総括主幹 管 正晴

総括主幹 大島啓一郎

主 幹 石橋 一代

主 幹 今井 英也

主 幹 品矢 光賢

副主幹 中村 裕樹

副主幹 小野 靖代

5 公開、非公開の別

公開

6 傍聴人数

0人

7 議題及び結果

(1) 第2次佐伯市総合計画（前期基本計画：政策7：地域活性化分野）の検証結果について（上浦振興局説明）【資料1、1-1、1-2、1-3】

施策名「マグロ養殖と花の咲くまち かみうら」について、平成30年度から令和4年度に実施した取組内容とその成果について施策評価調書及び写真資料を使い説明。また、目標指標としている内容（河津桜、ジャカラランダの植樹本数）の実績値とそれに対する評価、重点プロジェクトである「花の咲く上浦づくり」及び「生本マグロの活用」の具体的な実施状況を説明し、政策評価調書について意見交換を行った。河津桜は地形的な問題や塩害もあって植栽場所確保が困難であり、D評価となった旨説明。

上浦地域の総合評価と今後の施策展開について、総合評価をBとした内容を説明し、提案どおり承認を得た。

(2) 第2次佐伯市総合計画（後期基本計画：政策7：地域活性化分野）の策定について

①第2次佐伯市総合計画（後期基本計画）の考え方について（政策企画課説明）
【資料2】

・後期基本計画の考え方及び策定期間について

佐伯市総合計画の基本構想は平成30年度から令和9年度の10年間の計画であり、基本計画については前期、後期各5年間で構成している。令和4年度が前期計画の最終年度となることから、地域振興審議会において前期基本計画をベースとして、後期基本計画の素案策定を10月末までにお願ひする。後期基本計画の考え方としては、現在の将来像及び基本政策を継続し、また、「さいきオーガニックシティの実現」として、シェアリング、デジタル、グリーンの3つの横断的視点で重点取組である経済、社会、環境の側面に配慮し作成してほしいと説明した。

②第2次佐伯市総合計画（後期基本計画）策定に係る施策見直し調書及び今後の策定工程について（上浦振興局説明）
【資料2-1】

・後期計画策定に係る施策見直し調書における時点修正等について

現時点での上浦振興局地域振興課としての見解、案として、現状と課題における時点修正や主な取組の廃止案について説明。今後の地域振興審議会での後期基本計画策定に係る協議の際に審議をお願いした。

・今後の審議会の開催日程について

第2次佐伯市総合計画（後期基本計画：政策7：地域活性化分野）の策定にあたり、今後、8月から9月にかけて地域振興審議会を開催し、10月末までに素案を作成し答申する旨説明した。

(3) その他

・前期基本計画の検証結果における審議会の答申を6月27日までにを行うことを説明した。

8 審議の内容

協議事項説明の後、主な発言内容は以下のとおり。

○取組内容の写真資料による丁寧な説明を聞き、上浦地域の評価としては「B」評価して妥当と判断する。

○河津桜600本という目標は無理があった。かなり頑張ってくれたが、塩害や植える場所がないなど大変だったと考える。

○マグロについては通常のイベントが打てない中、代替イベントなどで工夫して頑張っていたと思う。

○河津桜は見慣れてきている。見たことがない花木を探したり、最近はやっているミツマタとかを植えるのも面白いのではないかと考える。

→それも、花の咲く地域づくりとして選択肢のひとつと考える。

○当初の目標指標を作成する際は、河津桜の植栽本数を最終的には増やした数値とした。後期計画策定時には、目標指標は不可能な数値とならないように検討したほうがよいと思う。

○オーガニックシティについて詳細な説明を受けたが、第2次総合計画の当初計画作成時はこのワードはなかったし、イメージしにくい。

→現在の上浦地域の取り組みも経済や環境の側面に合致しており、十分にオーガニックな取組と考える。

○持続可能な社会のためのデジタル地域通貨とはどういったものなのか。

→検討段階ではあるが地域活性化のツールとして、一般的に行われているお金をチャージして使うといった地域通貨もあるが、それに加えて、例えば地域コミュニティに係るお手伝いをしたらポイントをもらえるなど、地域で使用できる地域通貨を佐伯市の中でも構築できないかと考えている。経済をトータルで考えた時に地域外に出ていくお金もかなりあるので、なるべく地域の中でお金を回していければ、経済・社会・環境がうまくまとまって、良い取組になるのではと考え検討していきたいと考えている。

○後期計画作成の際には現在の主な取組の「瀬会海岸に砂を入れてビーチバレー」は現実的に不可能なので廃止したほうがよい。

○10年計画なので、大きな計画の部分は変える必要はないと考える。後期計画では主な取組を検討する中で、苦労して植えてきた、いなめファームの河津桜やジャカラダの活用や、豊後二見ヶ浦の遊歩道の活用も考える。また、空き家対策、公共施設の有効利用、災害対策なども、主な取組の候補となるのではないかと考える。

○目標指標は、どうやってきめていくのか。

→主な取組を考えてから、目標指標を検討するほうがよい。

○次の審議会には皆が、主な取組案を持ちより審議したほうがよい。

○その他

- ・瀬会ウォーキングとか規模の大きなツール佐伯の上浦版なども面白いと思う。
- ・閉院した大内クリニックの付近はとても良い場所なので現状は残念。
- ・久しぶりに再開した上浦幼稚園が来年は完全に閉園すると聞いたが残念である。園児のいる家庭や当事者は知っていても、地域住民はほとんど知らないのでは。もっと、広報すべきだと思う。

・審議会の本題に先立ち、コミュニティ創生課住民自治推進係より、地域コミュニティの経過報告と今後の方向性についての説明をした。

9 会議の資料名一覧

第2次佐伯市総合計画（前期基本計画）評価結果【資料1】

第2次佐伯市総合計画 上浦地域の令和3年度の取り組み【資料1-1】

第2次佐伯市総合計画（前期基本計画）施策評価調書[H30～R4]【資料1-2】
政策評価調書【資料1-3】

第2次佐伯市総合計画（後期基本計画）の考え方【資料2】

総合計画（後期基本計画）策定に係る施策見直し調書【資料2-1】

新たな地域コミュニティの構築について（経過報告）【資料3】

10 問い合わせ先

担当課 地域振興部 上浦振興局地域振興課 地域振興・市民サービス係
電話番号 0972-32-3111